

ふかがわ 市議会 だより

第3回定例会

- ◆平成30年度決算 議会が厳しくチェック！……2～5P
- ◆可決した条例、補正予算、意見書など……6～8P
- ◆一般質問……8～15P

議員は現場から学ぶ

- ◆合同施設調査、林活議連研修……15P

庁舎整備特別委員会……16P

No.237 2019.11

令和元年11月7日発行

発行 深川市議会

編集 広報編集委員会



JAきたそらち「精米施設」



北空知圏学校給食センター「きたぞランチ」



認定こども園「深川あけほの保育園」



「深川市有害鳥獣処理施設」

令和元年8月26日(月) 2常任委員会合同での公共施設等調査



若年者等雇用拡大奨励事業

大前委員
若年人材の確保を目指し、市内企業による雇用対策の実施のための若年者等雇用拡大奨励事業について、過去5年間の実績と推移、今後の見通しを伺う。

決算額 450万円



合同企業説明会

〔答弁〕平成26年度は15事業所から20人の申請で、交付額1,170万円、27年度は8事業所から9人の申請で540万円、28年度は6事業所から9人の申請で480万円、29年度は6事業所から7人の申請で390万円、30年度は5事業所から8人の申請で450万円となっています。

企業の人手不足が深刻化する中、引き続き本奨励事業により、若年者等の市内での就業促進に取り組んでいきます。

通学手段の確保は

大前委員
市内小中学校に遠距離通学する生徒の通学手段における、スクールバス運行費及び利用者数の推移を踏まえ、今後の考えを伺う。

決算額 8,310万円
(委託費以外も含む)



スクールバス

〔答弁〕スクールバスの運行は民間会社に委託しており、平成26年度は9路線8,283万円、30年度は8路線とハイヤー費用との合計で8,258万円、利用者数は、平成26年度は小中学生合計155人、30年度は合計134人で、21人の減少となっています。今後も継続して運行してまいります。児童生徒数の状況等を考慮し、地域の方とも協議した上で、必要な通学手段の確保に努めていく考えです。

教育施設の利用者確保は

北村委員
市内の教育施設、特に中央公民館、生きがい文化センター及び文化交流ホールみらいにおける、利用者確保に向けた取り組みについて伺う。



中央公民館

〔答弁〕中央公民館は、各サークルが自主的な活動を行っており、年間延べ約4万人の利用で、教育委員会では、新たなサークルづくりのきっかけとして、公民館講座を開催しています。また、生きがい文化センターは約8万1,000人、みらいは約3万9,000人の利用があり、今後も各施設の指定管理者と連携し、有効に活用できる施設であり続けるよう、整備に努めていく考えです。

バックカントリースキー利用

佐々木委員
地域資源活用施設(山の駅)における、バックカントリースキーの利用の実態とその経済効果について伺う。



地域資源活用施設「山の駅」

〔答弁〕倶知安町の企業が、音江山でのバックカントリースキーを実施する際に本施設を利用しており、平成30年度利用実績は、36日間で延べ441人となっています。経済効果としては、山の駅でのシールドの購入や、まあぶレストランの利用、雪上車のオペレーターにおける地元優先での雇用などが挙げられることから、今後も積極的にPRするなど、利用者の増加に努めていきます。

農業次世代人材投資事業

北村委員
農業次世代人材投資事業による新規就農者の状況と、今後の見通しについて伺う。

決算額 303万円



花卉栽培風景

〔答弁〕就農後から5年間、資金が全額国費で支援されるもので、平成24年度の事業開始から30年度までに、本事業を活用した新規就農者は、個人で5人、夫婦で2組となっており、今年度は音江地区で1人、一已地区で1人に対して交付することとしています。今後も、新規に参入した方や、経営継承する方に対して、円滑な就農ができるよう、本資金の有効活用を図ってまいります。

病児・病後児保育事業

松本委員
病児・病後児保育事業を行うには、必ず看護師と保育士の両方がいなくてはならないが、保育体制と実績及び課題を伺う。

決算額 124万円



市立保育所の様子

〔答弁〕本事業は、看護師と保育士をそれぞれ1人ずつ配置する体制をとっており、平成29年度は延べ20人、30年度は延べ21人が利用しています。課題としては、手続の煩雑さや保育時間が短いなどのほか、配置看護師及び保育士は保育園業務との兼務のため、利用希望日の人員確保が困難なことから、職員体制をどう維持していくのかなどが挙げられます。

決算審査特別委員長報告抜粋

総括質疑

無電柱化事業について

田畑副委員長
国土交通省では、防災、安全、円滑な交通の確保、景観形成、観光振興などの観点から、必要の高い道路について、無電柱化を重点的に推進するとあるが、本市の無電柱化・バリアフリー化の計画と進捗状況を伺う。

決算額 1億9,537万円



無電柱化工事

〔答弁〕国道233号の本町通りと道道深川雨竜線については、緊急輸送道路として、防災上、重要な路線と位置付けられており、本年度より事業着手されたところです。それぞれ、令和4年度及び3年度に全区間の工事を完了させ、5年度と4年度に電線類の入線とバリアフリー化工事を行う予定と伺っています。また、市道蓬萊通線は、平成29年度に工事に着手し、最終年度の本年度は、駅前通りまでの電線共同溝の埋設が完了し、現在は歩道のバリアフリー化工事を行っています。今後は、電線類を入線するとともに、既設の電柱を抜く作業を行い、すべての工事が完了となる予定です。

決算説明書「深川市の今年のごと(決算編)」

市では、毎年、市民のみなさんに決算の内容を知っていただくため、おもな事業をわかりやすくまとめた冊子「深川市の今年のごと(決算編)」を作成しています。



決算説明書の冊子は、各町内会に配布しているほか、市の公共施設に備え付けていますので、是非ご覧ください。



市ホームページからも確認できます。

今後も、歳入面では、財源確保と負担の公平性を図る観点から、市税のさらなる収納率向上や、収入未済額の縮減を、また、歳出面では、優先度を考慮し、費用対効果を検証しながら事業の推進に当たると、持続可能な健全財政を堅持されるよう一層の努力を望みます。

また、厳しい経営環境にある市立病院への特別な財政支援など、限られた財源の効率的な執行と、健全な財政運営に努めています。

持続可能な健全財政を堅持されるよう一層の努力を望む 〔金山代表監査委員による一般会計決算審査意見(要旨)〕

税の寄付金が増加しています。歳出においては、新規・重点施策として、妊婦健康診査通院等支援事業の拡充、若年者雇用対策の充実、まちなか居住推進などに取り組んでいます。

また、厳しい経営環境にある市立病院への特別な財政支援など、限られた財源の効率的な執行と、健全な財政運営に努めています。

決算書及び付属書類は、法令に準拠して作成されており、計数も関係帳簿と照合した結果、正確であり、予算の執行状況についても良好と認められました。

本市の財政は、地域を取り巻く経済環境とともに依然として厳しい状況が続いていますが、一般会計の歳入においては、地方交付税や各種交付金等の確保に努め、さらには、ふるさと納税の寄付金が増加しています。

本市の財政は、地域を取り巻く経済環境とともに依然として厳しい状況が続いていますが、一般会計の歳入においては、地方交付税や各種交付金等の確保に努め、さらには、ふるさと納税の寄付金が増加しています。



監査委員による決算審査意見

～第3回定例会のあらまし～

今定例会では、初日となる9月10日から12日までの3日間にわたり一般質問を行い、19日、20日、24日の3日間で決算審査特別委員会を開催しました。このほか、27日に議長不信任決議を含む3件の決議と、懲罰動議の提出がありました。

また、会期について、9月10日から27日までの18日間を予定していましたが、27日に懲罰動議が提出されたことにより、慎重に審議を行う必要があるため10月7日まで延長しました。

Pick Up 深川市立保育所条例ほか

条例可決 10月1日から教育・保育施設の保育料負担軽減を拡充

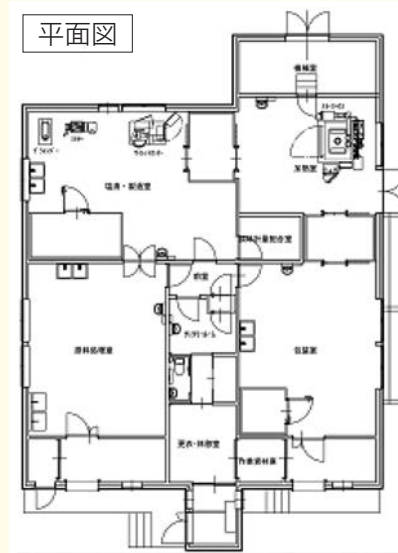
3歳から5歳までの幼稚園、保育所、認定こども園などを利用する子供たちの保育料を無償化するため、所要の法改正が行われたことに伴い、本市においても同法の一部を引用している「深川市立保育所条例」及び「深川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例」の改正を行いました。

また、0歳から2歳までの子供たちの利用料についても、深川市の独自軽減により保育料軽減額がこれまでより拡大されました。

年齢	対象世帯	利用施設	保育料	副食費
3歳～5歳	保育の必要性の認定事由に該当する児童・共働き家庭・シングルで働いている家庭 など【2号認定児童】	幼稚園、保育所、認定こども園、就学前障がい児の発達支援	無償（幼稚園は月額2.57万円まで）	年収360万円未満相当の世帯及び第3子以降の児童⇒免除 ※上記以外は実費負担（ただし、2号認定の同時入所の第2子は市独自軽減により免除）
		幼稚園、認定こども園の預かり保育	幼稚園等の利用に加え、月額1.13万円まで無償	
0歳～2歳	上記以外・専業主婦（夫）家庭 など【1号認定児童】	幼稚園、認定こども園、就学前障がい児の発達支援	無償（幼稚園は月額2.57万円まで）	これまで同様に保育料の一部として負担
		保育の必要性の認定事由に該当する児童【3号認定児童】	保育所、認定こども園	

Pick Up 深川市地域資源活用農畜産物処理加工施設条例

条例可決 地域特産品創出のための加工施設の管理運営事項を決定



地域資源活用農畜産物処理加工施設は、地域資源を活用した、付加価値の高い農畜産物のブランドを確立させ、地域特産品の創出及び雇用の確保と拡大、産業の育成・強化を図ることを目的に設置するもので、平成30年度からの2カ年で、1億6,939万円（うち国費7,500万円）の予算をもって広里町5丁目108番2に整備するものです。

【事業内容】

- (1) 敷地面積 1,559㎡
- (2) 床面積 218㎡
- (3) 工期 平成31年3月～令和元年11月
- (4) 製造予定品目
ハム類、ソーセージ類、ベーコン類の食肉製品

【市功労者提案】

市功労者表彰条例に基づく提案

公益功労者8人及び自治功労者2人を表彰することについて全会一致で同意

【公益功労者】

交通安全運動の普及推進に貢献された

林 保さん

技能者の地位向上に貢献された

関 雅夫さん

土地改良事業と農業の興隆発展に貢献された

堀井 修さん

農業の興隆発展と消防団活動に貢献された

菊池 健治さん

社会福祉の向上発展に貢献された

佐藤 克之さん

地域防災と消防団活動に貢献された

松本 健憲さん

商工振興と恵まれない子どもたちへの支援として私財を寄附された

永倉 智恵子さん

社会教育施設の整備基金として私財を寄附された

東原 俊郎さん

【自治功労者】

地方自治の発展に貢献された

楠 理智子さん

高畑 俊孝さん

教育委員の任命

教育委員会委員 轡田光章さんの任期満了に伴い、引き続き同氏を任命したいとの提案があり、9月10日の本会議において、全会一致で任命に同意しました。

【条例等】

北空知衛生センター組合を組織する市町数の減少及び北空知衛生センター組合規約の変更

深川地区消防組合を組織する市町数の減少及び深川地区消防組合規約の変更

深川地区消防組合からの幌加内町脱退に伴う財産処分

深川市税条例の一部を改正する条例

深川市印鑑条例の一部を改正する条例

深川市森林環境譲与税基金条例

【意見書】

内閣総理大臣などに送付しました

- 道教委の「これからの高校づくりに関する指針」を抜本的に見直しすべての子どもに豊かな学びを保障する高校教育を求める意見書
- 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書
- 太陽光発電の適切な導入に向けた制度設計と運用における意見書
- 高齢者の安全運転支援と移動手手段の確保を求める意見書

	議員名（議席番号順）													議決結果		
	佐々木一夫	松本雅祐	山本時雄	北村薫	大前昭代	田畑陽美	太田幸一	宮澤孝司	辻本智	近沢弘幸	小田雅一	鶴岡恵司	田中昌幸		北名照美	
深川市地域資源活用農畜産物処理加工施設条例	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
30年度一般会計歳入歳出決算認定	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
30年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
30年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
鶴岡恵司議長不信任決議	○	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	除	●	●	●	否決
深川市議会議員佐々木一夫君に対する問責決議	除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議会審議の規律保持に向けた決議	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※賛成=○、反対=●、棄=棄権、除=除斥（採決に加わることができない）、鶴岡恵司議長は採決に加わりません

10人の議員の一般質問を紹介します。掲載しきれなかったほかの質問は、深川市議会YouTubeチャンネルでご覧いただけます。



【問責決議】

深川市議会議員佐々木一夫君に対する問責決議（議員提案）

（問責決議全文）

佐々木一夫議員は、自身の文責による市議会報告第18号の記載の中で事実とは異なり、市民に誤解を招く内容の文書を配布している。

一つには、事実が商工会議所の会員であるにもかかわらず「S社は、商工会議所からも加盟を拒否されている」と記載している。

二つには、現職議員の実名を挙げて、あたかも疑念があるかのように「選挙管理委員会に問い合わせ中」と記載されている。これも事実確認がなされぬまま記載した上、「問題は無い」という選挙管理委員会からの回答があった以降も文章をそのまま配布し続けており、市民に向けてあたかも何かがあったかのような印象を与えている。

を受けた議会運営委員会で全会一致をもって議長の議事整理権によって進めることが確認され再開されたが、取り扱いを巡って一方的に以降の一般質問を取りやめた。行政と議会とは二元代表制のもと、対等な立場であることは言うまでもない。

協議し合意され積み上げてきた「深川市議会申し合わせ事項」について否定をしていることも、許されるものではない。よって、佐々木議員に対し、自身の言動責任に強く反省を求め、問責するものである。



ちかさわひろゆき 議員 (公政クラブ)

中山間地域の農地維持を 今後も制度を有効に活用

中山間地域等直接 支払制度：市HP



旧耐震基準の中央公民館

耕作放棄の防止、水路・農道の維持管理など、中山間地域等直接支払制度により急傾斜・緩傾斜の農地が維持されているが、次年度より5期目に移行することから、その概要と市の考えを伺う。

農作業の共同化などの要件が廃止され、集落の将来像を明確化した集落戦略の作成に要件が一本化されるほか、農業生産活動の継続を基本とした遡及返還措置の見直しなどが行われることとなります。

耐震改修促進計画の進捗状況は、昭和56年以前の旧耐震基準で建築された建築物が多くあると思うが、市

内の病院、介護施設、各種学校、保育園の耐震化の進捗状況及び耐震化率について伺う。

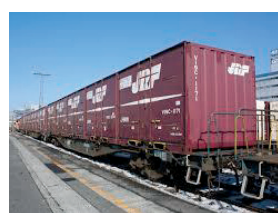
なり、合計16棟、51・5%です。また、市有特定建築物の同時期の状況として、対象建築物41棟中、耐震性を確認できない建築物は合計11棟で、耐震化率は73・2%、その後、小中学校等の耐震化工事により、現在は90・2%に改善されています。



おおたこういち 議員 (新政クラブ)

国交省の青函トンネル撤退 国にJRの経営再建を要請

保健・化学物質対策：国HP



JRの貨物輸送

わずか16分の「北海道新幹線」時間短縮のために貨物輸送を廃止することは、北海道の産業を初め生存に対する冒険であり、蔑視、軽視以外の何物でもない。国への支援を要請すべきではないか。

送距離及び日数が伸びるとともに、コストが増大し、生産者所得にも大きな影響を及ぼすものと思定しています。

問題の国策、原発行政は時代錯誤

環境省の施策において、最も高い被ばく線量を受けた小児の集団において甲状腺がんのリスクが増加する可能性が理論的にはあり得るため、県

貨物輸送がトラックや船便となった場合、輸

で、JR北海道の経営問題解決に向けて、全国市長会や北海道市長会を通じて要請していく考えです。

国はあらゆる政策で、国民への周知透明化はなく、都合よく国民を欺いている。原発施策でも多

民健康調査の充実と長期にわたるフォローアップにより、臨床データを収集するとしています。

国は調査の継続とともに、調査結果の客観的妥当性を確保するため、被ばくと健康の影響の因果関係を検証し、よりわかりやすく説明していくことが重要と考えます。



まつもとまさひろ 議員
松本雅祐 議員
(令和公明クラブ)

みどり館の整備・改修を 既存設備利用を含め検討

Q グリーンパーク21のみどり館は、地域の憩いの場である。しかし、館内には台所がなく、1階の部屋は和室である。利用しやすいよう台所の設置や、洋間に変更するなどの施設整備について伺う。

A 事務室内に給湯室が設置されているため、一

般の方が利用しにくい状況にありますが、台所の整備は多額の費用を要することから、既存の給湯設備を利用できないか、事務室内の配置を工夫するなど、町内会とも協議し対応を検討していく考えです。

畳の部屋に絨毯を敷くなどの改修は、これまで

の利用状況のほか、同様の市施設の状況も参考にし、市の財政状況も勘案しながら検討していく考えです。

死亡に伴う煩雑な各種手続を解消

Q 親族が亡くなると、遺族は様々な手続のため市役所を訪れる。本市も

「お悔やみ案内コーナー」を設け、必要な手続や書類が一目で分かる書類を作成するなど、遺族の負担軽減について伺う。

A 「お悔やみ案内コーナー」の設置は、1階ロビーの面積上の制限や、情報集約の面で市民課の窓口だけでの対応が困難なことから、現状では難

グリーンパーク21：市HP



みどり館

しいものと考えますが、各部署との情報の共有を十分に図り、担当職員が市民課に出向くなど、市民にやさしい窓口に努めていく考えです。また、手続に必要な書類や窓口などを記載した一覧表を作成していますが、案内図を加えるなど、改善していく考えです。



つじもと さとし 議員
辻本 智 議員
(公政クラブ)

高齢化時代の墓地管理は 使用者の確認作業を進める

Q 少子化が進行し、本市の人口動態が変化するなかにあつて、「市内墓地」の管理が適正に行われることが肝要だが、市内にある合同墓及び一般墓地の利用状況について伺う。

A 合同墓は、本年8月末現在で55件221体の申請があり、申請件数の

7割、お骨の埋蔵数では約9割が「墓じまい」によるものです。

一般墓地については、市内全7、072区画中、本年3月末現在で5、345区画が使用されており、このうち、使用者が特定できない264区画については、現地調査や立て看板を設置するなど

確認作業を進めています。が、今後も調査方法を検討し、適正な維持管理に努めていく考えです。

図書館法による市立図書館の運営を

Q 図書館法は社会教育三法の一つで、図書館の設置等必要な事項を定めている。生きがい文化セ

ンター内に市立図書館を設置しているが、運営において図書館法と文部科学省告示は適切に取り扱われているか。

A 本市の図書館は、図書館法に基づかない図書館ですが、公立図書館としての果たすべき使命・役割を担うため、図書館法や文部科学省告示であ

る「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」及び教育委員会で策定した「深川市立図書館の運営方針」の趣旨にのっとり適切な管理運営をしています。また、指定管理者制度導入においても関係法令の遵守を求めると、適切な運営ができるよう進めています。

図書館：市HP



図書館



ささきかずお 議員
佐々木一夫 議員
(新政クラブ)

道の駅テナント募集問題 決裁は適正に行われている

Q 市はテナントの重複応募を受け付ける決裁を適切にしたというが、重複応募受付の理由も目的も、テナント受付・決定までの決裁文書にないことを確認したいがいかがか。

A テナントの募集の契約行為というのは、深川振興公社が事業執行のた

めに行う契約であることから、振興公社においてテナント募集に関する決裁が行われており、重複応募を認める趣旨の決裁は通常どおりであり、適正であったと受けとめています。

重複応募受付理由「新しい提案」

Q 今になってテナントの重複応募受付理由を「新しい提案を受けるため」というが、そのような理由はテナント受付・決定までの決裁文書にないことを確認したいがいかがか。

A 地域振興審議会の中で、新たな提案をいただくという答弁が振興公社からあったということですが、新たな提案をいただくということが決裁に含まれているという表現ではなく、こうした考え方が含まれているということから、そのことは振興公社として考えること

として不自然なことではないと考えます。

道の駅ライスランド深川：市HP



道の駅ライスランド深川



きたな てるみ 議員
北名照美 (無会派)

保育、教育の場にエアコン

快適な環境整備に努める

Q 今年の夏は連日の猛暑だった。保育所、小学校にエアコンは必要な設備であり、設置を検討すべきと考える。新築の深川中学校と、建築中の統合保育園ではどうか、考えを伺う。

A 深川中学校は、深川中学校改築基本構想・基本計画の中で、冷房設備

の適切な配置を検討し、保健室、会議室及びパソコン教室に設置したほか、外断熱工法を採用するなど、設計を工夫しています。

統合保育園は、園内の快適性を確保するため、乳児・1歳児用の保育室、中央のホール及び遊戯室に設置するほか、

換気等の配慮や開口部を大きくするなど工夫し、適切な室温になるように考慮しています。

周辺小学校の存続に意欲と対策を

Q 市内の中学校は2校に統合され、小学校は現状の6校体制だが、周辺校(多度志、北新、音江、

納内)は児童数が減少し、存続には具体的手立て、意欲ある取り組みが必要と考えるがいかがか。

A 現在「コミュニティ・スクール」の導入を進めており、地域住民と学校関係者が一緒になって学校経営について協議する体制づくりを行っています。また、研究授業によ

コミュニティスクール：市HP



改築された深川中学校

※無会派 会派に所属していない議員



たなか まさゆき 議員
田中昌幸 (民主クラブ)

選挙投票事務の見直しを

期日前投票所増設を検討

Q 期日前投票を高校、大学、プラザ深川などで実施するなど充実させ、投票日の午後8時までの投票時間を6時まで繰り上げ、開票も10時までの時間とすることの効果、影響、課題について伺う。

A 公職選挙法では終了時刻の繰り上げが認められており、近年の期日前投票の利用者増加などから、投票時間の検討は必要と考えていますが、それにより有権者の選挙離れが進むことのないよう、今後、町内会を通して意見を伺いたいと考えます。

また、期日前投票がより充実したものとなるよう、現在の健康福祉センター、納内・多度志支所のほか、市内中心部に1カ所増設することで、今後、関係機関と協議します。

に暴力を振るってくる者が来た場合の対策、訓練等はどういうようになっていくのか、市の現状を伺う。

A 最近の事例では、行政に対する不満から危険な行為に及ぶことが多く、住民への接し方を改めて考え、「キレさせない」工夫を凝らすことがトラブルを防ぐ近道と考えら

期日前投票・不在者投票：市HP



期日前投票所(市役所)

れています。本市においては、職員への不当要求行為に対する要綱や、接遇マニュアルの周知などを行っています。また、それ以外の特別な訓練をしている状況ではなく、有効な手段もないことから、他市の事例も参考に研究したいと考えています。



おおまえ あきよ 議員
大前昭代 (民主クラブ)

行政と町内会の連携強化を

引き続き活動を支援する

Q コミュニティ活動の促進やセーフティネットの強化、地域防災や災害時における生活機能の維持など、これからの深川市を考えた時に、行政と町内会の連携強化が必須と考えるがいかがか。

A 深川市町内会連合会連絡協議会では、協働のまちづくり市民協議会と

共同で「町内会課題研究会」を設立し、町内会が抱える問題についての検討が行われ、市への要望書をいただいたものです。

LGBTとパートナーシップ制度

Q LGBTについて、誰もが理解し受け入れ、偏見や差別をなくすことは、全ての個人に対する偏見をなくすことに繋が

る活動を行うための支援に努めていきたいと考えています。

A この制度は、全国でも徐々に広がりを見せており、道内では札幌市が要綱を制定し推進しています。市では昨年、札幌市のLGBTの取り組みにつ

多様な性について考えよう！：市HP



町内会による防災訓練

いて調査を行い、制度だけでなく民間企業などへの理解・普及が最も重要とのことであり、まずはLGBTに対する正しい理解を深めることが重要と考え、引き続き周知・啓発に努め、先進事例の収集や関係団体等の意見もいただくなど研究したいと考えています。



たばた はるみ
田畑陽美 議員
(民主クラブ)

受動喫煙防止対策について 様々な場面で周知に努める

健康被害が取り上げられている受動喫煙だが、望まない受動喫煙をなくすため、段階的に敷地内禁煙、原則屋内禁煙が義務化される。禁煙化・分煙化が進みつつある中、市の取り組みを伺う。

21により対策を進めており、母子手帳交付時に妊婦や家族への禁煙、分煙の必要性。小学生を対象に「ダメダメたばこ教室」による知識の普及。成人に対しては、健康診査の保健指導や、健康教室などで周知しています。また、受動喫煙防止対策は市HPでも掲載し、今

後も新たな情報があれば速やかに掲載していきます。

自らの身を守る「避難スイッチ」

「自らの身を守る」ことの市民周知に関する避難対策の取り組みについて伺う。

自らが守る「この市民周知に関する避難対策の取り組みについて伺う。」として、避難ルートの確認や防災備品の常備のほか、どのタイミングで避難を始めるか、自分なりの「避難スイッチ」を持つことが大切です。これら防災意識の醸成

受動喫煙対策：国HP



昨年の大雨災害



やまもとときお
山本時雄 議員
(令和公明クラブ)

郊外地における市道の現状 耕作道は維持管理で対応

市道音江2号農線はお墓参り時期には利用する車が増えるが、土埃や砂利の減少によるでこぼこなど道路環境が悪いため、切削材による防塵処理などの対策が必要と考えるが、市の見解を伺う。

お墓参りの方々が増える際の迂回路として通行し、交通量の増加に伴う土埃やでこぼこが発生する状況です。しかし、日常は一般車両の通り抜けは少なく、交通量の増加も定期的なものであり、道路整備に関しては民家もない耕作道という性格上、建設事業で取り扱うことは

困難です。今後も、路盤砂利の補充や整地などの維持管理に努めていきます。

しゃんしゃん傘踊り参加について

「しゃんしゃん傘踊り」は、市民や市内企業、事業所、団体等が参加し、楽しいひと時を過ごすことが出来る。市民以外にも踊りに参加し、市民と同じ形で踊ってほしいと考えるが、市の考えを伺う。

「しゃんしゃん傘踊り」は、参加された企業、事業所、団体などの中で市民以外の方も参加されており、実施主体の商工会議所からは、交通規制等

道路整備状況：市HP



しゃんしゃん傘踊り

市議会活動レポート 議員は現場から学ぶ

深川市議会では、委員会における活動や、議員としての視野を広げるための活動として、さまざまな取り組みを行っています。

今回は、8月26日に行った2常任委員会合同での公共施設等調査と、10月4日に行った深川市議会森林・林業活性化推進議員連盟（以下、林活議連）による研修会についてご紹介します。

～常任委員会合同公共施設等調査～

市議会では、改選期毎に各常任委員会合同で、それぞれの所管する公共施設等の調査を行っています。

今回の施設調査では、近年建設された、「深川あけぼの保育園」、北空知圏学校給食センター「きたそランチ」、JAきたそらち「精米施設」、「深川市有害鳥獣処理施設」の4カ所を視察しました。



深川あけぼの保育園グラウンド

各施設で担当の方から丁寧な説明を受け、コンセプトや新しい機能、使用状況などについてお聞きし、施設への理解を深めるとともに、施設で働く方たちから現場の声を聞くことができました。

～林活議連研修～

深川市の森林・林業の活性化と山村経済の振興に寄与することを目的とした全議員で構成する林活議連では、毎年、道内の林業を中心とした研修事業を実施しています。

本年は、市有林と深川西高等学校の同窓会林の視察を予定していましたが、雨天のため中止となり、研修会のみで開催となりました。

研修会では、深川西高等学校同窓会が作成した同窓会林の映像を鑑賞した後、空知森林管理署北空知支署の佐藤支署長を講師に招き、「北海道国有林の取り組みと深川市の関連」などについて研修を行い、林業への理解を深めました。



佐藤支署長による研修

庁舎整備特別委員会 現地建て替えでの基本計画案を了承

深川市議会では、第2回市議会定例会において、庁舎整備に関する基本計画の策定に向けて、十分に調査・研究するため、庁舎整備特別委員会を設置しました。

特別委員会設置後、現在までに7回の会議を開催して検討を重ねるとともに、平成29年に庁舎建て替えを行った北広島市役所の視察に赴くなど、精力的に調査に取り組んでいます。

今回は、これまでの調査・検討内容の経過についてお知らせします。

～委員会での主な検討経過①～

- ・第1回（7月4日） 正副委員長決定
- ・第2回（7月23日） 市民アンケートの結果、基本計画（案）などについて検討
- ・第3回（8月28日） 基本計画（案）における議会施設の機能などについて検討 【北広島市視察調査】



～北広島市役所視察～

北広島市庁舎は、平成25年9月に基本計画を策定、延床面積10,785㎡、地上5階建て、旧庁舎敷地内で建て替えを行い、29年5月から供用開始しています。



開放的な中央の吹き抜け部分



機能的な議場設備

新庁舎は、「保健センターなどが入った複合庁舎」、「災害に強い庁舎」、「再生可能エネルギーを使用した省エネ庁舎」、「バリアフリー庁舎」の4つの大きな特徴があり、それぞれの機能について説明を受け、基本計画策定までの経過や、改築費用などを調査しました。

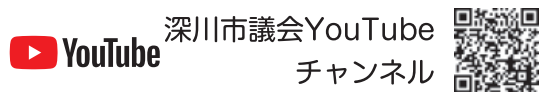
～委員会での主な検討経過②～

- ・第4回（9月17日） 整備方針を「建て替え」として進めることを確認
- ・第5回（9月26日） 新庁舎の建設位置を現在の庁舎敷地内とすることを確認。議会施設の機能について、議場の多目的利用の可否などを協議
- ・第6回（10月4日） 基本計画に登載する議会施設の機能について確認
- ・第7回（10月9日） 検討結果を反映した基本計画（案）について、委員会として最終確認し、第4回定例会において検討経過の中間報告を行うことを決定

◆ 問合せ先：深川市議会事務局内 ◆

〒074-8650 深川市2条17番17号

電話0164-26-2282（直通）



深川市議会YouTube
チャンネル



深川市議会

公式ホームページ

編集後記



広報編集委員に選任いただき、2回目の議会だより発行となります。

第3回定例会では10人の議員が一般質問を行ったほか、決算審査特別委員会も開催されました。

限られた紙面の中ではありますが、常に市民目線に立ち、理解していただける議論を行い、開かれた議会を目指して、市民の皆様にはわかりやすい議会だよりをお届けできるよう取り組んでまいります。

皆様のご意見、お待ちしております。

広報編集委員会副委員長 田畑 陽美